



全日本建設交運一般労働組合 全国酸素部会新聞



発行 建交労 全国酸素部会機関紙部
大阪府堺市西区石津西町1 2番

TEL 072-276-4320

メール zenkoku.sanso@gmail.com

HP <http://sansobukai.web.fc2.com>

建交労2025年春闘中央決起集会



3月6日(木)建交労3.6中央行動「建交労2025年春闘中央決起集会」が、衆議院第一議員会館大会議室で行われ、約130名のなかまが集まり、全国酸素部会からは8名の参加でした。

足立中央執行委員長のあいさつでは「実質賃金が上がらない中、物価、燃料高騰により25春闘を取り巻く情勢は日本の全ての人を対象。拡大し続ける大企業の内部留保を社会に還元させ、中小企業へ回させる。中小労働者の大幅賃上げで経済回復を目指す。全国一律最低賃金1500円実現で全ての職場で賃上げさせる。8割を超える未組織労働者、国民全体への世論を大きく作って行くことが重要。自動的に賃金や組合員は増えない。全ての職場で、あらゆる行動を展開し、なかまの力を総結集して、25春闘を粘り強くたたかい抜きましょう。」と力強く述べられました。

全国トラック部会の決意表明として、東幹事より「現在トラック産業の状況は、長年、低賃金、長時間労働が当たり前になっており、ドライバー不足。大型免許取得に、経験年数、年齢制限もある上、教習所の料金が高額な為、取得者数が年々減少している。ドライバーの高齢化が進み、このままでは、トラック産業が衰退していく。」と訴え、「現在の改善基準告示は不完全。運賃や多重構造に対しても、強制力のある法案にし、労使共に魅力あるトラック産業にしていけるよう、政府・各省庁に訴えていかなければならない。適正運賃を試算すれば10tトラックドライバーで年収700万円は可能。即結果が出るわけではないが、長い時間をかければ実現出来る。25春闘をトラック産業改善元年と位置づけ春闘をたたかう。」と力強く決意表明されました。

その後、「労働条件確保等に関する請願」署名4215筆を厚生労働省の担当職員へ提出し、最後に川路中央副執行委員長の団結ガンバローで25春闘決起集会を締め括りました。

全国酸素部会としても、酸素のなかまの力を総結集し、全組合員で25春闘をたたかい抜き、要求実現の為、共にならば抜きましょう。

太陽液送分会大田貨物班 長谷川達三



26年間お疲れ様でした

この度、エアケミ運輸分会の荒牧丈夫書記長が勤続26年で定年を迎えられました。

エアケミ運輸の不当解雇問題を機に組合が結成され、結成前から結成後と今現在の全てを知る方です。栃木県本部の役員としてもご活躍され、分会とのパイプ役を務め、会社との交渉役を担っていただきました。暗黒だったエアケミ運輸を進化させ、まさに大黒柱の様な方でした。今後は再雇用で乗務されます。



荒牧さんの背中を見つつ、組合員全員で労働者の権利雇用を守り、勝ち取っていかればと思います。

26年間お疲れ様でした。そして今後とも宜しくお願い致します。皆さん共にならば抜きましょう。

エアケミ運輸分会分会長 齋藤隆

3.6中央行動 省庁要請行動

建交労3.6中央行動、全国トラック部会として国交省並びに厚生省への要請行動に参加しました。

国交省へは「トラック運転者など自動車運転従事者の状態改善を求める要請」、厚生省へは「自動車運転者の『改善基準告示』等の改善を求める要請」がおこなわれ、私たちが安全・安心そして健康に働けるよう切実な実態を踏まえた要請となりました。両省庁への「改正された『改善基準告示』について『過労死認定基準』などの関連や『働き方改革関連法』付帯決議との関係で過労死防止に向けた再検討をおこなうこと」について、国交省としては、「厚生省と連携し検討していく」厚生省としては「『改善基準告示』再検討については、3年を目途に検討」と盛込まれている為、時期的なことについては明言できない。適用後1年の告示違反や労災発生件数の把握などもできていない」と回答がありました。厚生省への時間外労働の上限規制720時間以内とするようについては、「ドライバーの労働環境改善は重要だと感じています。まずは960時間以内厳守が重要であるが今後、労働時間短縮に向け国交省と連携し進めていきたい」特定最賃については、「関係労使及び最低賃金審議会の審査をへての設定となった場合、丁寧に対応させていただく」との回答で、低賃金による人材



不足につながる為、厚生省としての対応を要請しました。部会からの長時間労働の短縮や過労死防止の為の「改善基準告示」の見直しを本気で検討しているのかの質問には「過労死防止の観点から長時間労働の短縮は考えている」と回答があり、最後に部会として、長時間労働による過労死・労災疾患防止に向け状況を細かく把握し、厚生省として率先して「改善基準告示」の再検討、上限規制720時間以内にしていただけるように再度強く要請し終了しました。

今後も自動車運転者が安全・安心そして健康に働けるよう要請や交渉に参加していきたいと思えます。

寿運送分会 村上吉樹

大阪トラックパレード

3月9日(日)晴天の中、夢洲にて25春闘勝利をめざす決起集会、大阪トラックパレードが開催され150名が参加しました。

今回のスローガンは「多重下請け構造禁止！適正運賃の義務化をめざそう！」「運輸・建設労働者の大幅賃上げと労基方改悪反対！」「万博開催中止！カジノ建設中止！消費税廃止！インボイス制度の廃止！」これらを掲げています。



決起集会では、大阪府本部から荻田書記長の挨拶で始まり、日本共産党の清水ただし氏からは春闘に向けて力強いお言葉を頂きました。大阪府本部の前村委員長から「春闘に向けて組合員全員が団結し物価高だからこそ賃上げを勝ち取りましょう」と力強い意気込みがありました。その他沢山の来賓の方々から熱いメッセージをいただきました。

決起集会の最後に大阪トラック部会橋本部長の「団結ガンバロー！」で指揮が高まり、夢洲から出発したトラック15台が野田阪神駅～難波に向け走りだしました。

今回のスローガンをトラックに掲げ大阪市民にアピールしました。

寿運送分会 長谷川慎治